

天理・桜井・樫原・明日香

# ぼんちの真ん中らん



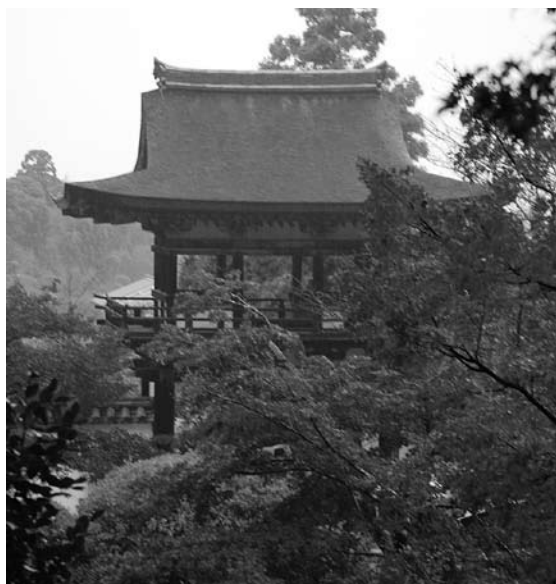
折り返し  
地点到着!

いったん  
復習する  
のもアリ

Q & A

## Q73

写真はツツジと紅葉の名所として知られる天理市のお寺です。さて、何というお寺でしょう。



## Q74

天理市にある<sup>いそのかみじんぐう</sup>石上神宮は、<sup>ものゝべ</sup>物部氏ゆかりの神社です。ここに伝わる国宝の御神宝は、さていったい何でしょうか。



(写真提供：石上神宮)



## Q75

「ちゃんちゃん」と鉦<sup>かね</sup>を打ち鳴らして往復することから名が付いた「ちゃんちゃん祭り」。さて、これは何という神社のお祭りでしょう。

## Q76

天理市にあり、全国最大の前方後方墳<sup>まへうしろほうぼん</sup>として知られるのは、何という名前の古墳でしょうか。

## Q77

天理市の黒塚古墳<sup>くろつか</sup>から出土した33枚の鏡は、何と呼ばれるものでしょう。

## Q78

行燈山古墳<sup>あんどんやま</sup>（崇神天皇陵<sup>すじん</sup>）のすぐ東にある古墳は双方中円墳<sup>ちゅうえんふん</sup>という特徴ある墳形をしています。この古墳は何という名前でしょう。

## Q79

天理市のこの古墳からは、中国・後漢<sup>ごかん</sup>の「中平<sup>ちゅうへい</sup>」年の金象嵌銘<sup>きんぞうがんめい</sup>をもつ大刀<sup>たち</sup>が出土しました。さて何という古墳に埋蔵されていたでしょう。

## Q80

後醍醐天皇<sup>ごたいご</sup>が身を寄せたという天理市のこの廃寺。さて、何というお寺でしょう。

A73

正解は <sup>ちやうがくじ</sup>長岳寺

長岳寺は天理市柳本町にあり、通称「釜口大師」<sup>かまのくちだいし</sup>で親しまれています。天長元年(824)、<sup>じゆんな</sup>淳和天皇の勅願により空海によって創建され、当時は大和神社の神宮寺だったといわれています。写真の建物である鐘楼門<sup>しょうろうもん</sup>は、創建当初の遺構といわれ、重要文化財となっています。

広い境内には、池を中心とした浄土式庭園が造られ四季折々に美しい姿を見せます。

とくに4月下旬から5月上旬に咲くヒラドツツジ(約1000株)は圧巻です。秋も紅葉がたいへん美しく、池の周辺が紅葉で彩られ、古く鎌倉時代の仏教説話集『沙石集』<sup>しゃせきしゅう</sup>に「かまのくち こがれてみうる もみじかな」と詠まれており、紅葉に見え隠れする重厚な造りの本堂や鐘楼門の眺めは素晴らしいものです。

A74

正解は <sup>しちしとう</sup>七支刀

石上神宮は奈良朝以前から神宮号の尊称を用いられた由緒ある神社です。石上神宮が所蔵する七支刀は、4世紀における朝鮮半島と日本の関係を示す最古の文字資料として、昭和28年(1953)に国宝となりました。普段は非公開です。

七支刀は、刀身の表裏に60余字の銘文が金の象嵌<sup>そうがん</sup>で施された鉄剣です。刀身の両側から3本ずつ枝が互い違いに伸びたかたちをしており、武器というよりは祭具的な意味あいの強いものであったと考えられています。

『日本書紀』によると、4世紀に百濟から倭に「七枝刀」が贈られたとあり、関連があるのではないかとされています。石上神宮は軍事氏族であった物部氏<sup>もののべ</sup>が祭祀していたため、大和朝廷の武器庫の役割もあったといわれています。



A75

おおやまと

## 正解は 大和神社

天理市新泉町にいずみにある大和神社。奈良時代には遣唐使らが出発の際に参拝して祈願したため、古来海外渡航の交通安全の神様としても知られ、戦艦大和には大和神社の御分魂ごぶんこんが祀られていました。

毎年4月1日に行われる例祭は通称「ちゃんちゃん祭り」と呼ばれ、春の訪れを迎えるお祭りです。奈良では古くから、「祭りはじめはちゃんちゃん祭り、祭りのおさめはおん祭うた」と謡われ、春日大社のおん祭と並ぶ奈良の大きなお祭りとして知られています。

ちゃんちゃん祭りでは、近郷の氏子ら総勢200名を超える行列が、大和神社からお旅所たびしょまで神輿みこし渡しを行います。神輿とともに稚児ちごや僧侶が鉦かねを「ちゃんちゃん」と打ち鳴らして往復するのんびりとしたお祭りで、山の辺の春の風物詩です。

A76

## 正解は 西山古墳

西山古墳は、天理市のそまの内古墳群の中でも最も古い時期に造られた古墳で、全国最大の前方後方墳です。

ところが前方後方形をしているのは墳丘の1段目だけで、2段目と3段目は前方後円形という、珍しい古墳なんです。

墳頂には安山岩の板石があり、後方部中心にはたてあな竪穴式石室があると考えられています。出土品は鏡片きょうへん、管玉くだたま、刀剣片など。周濠からは車輪石が出土しました。

4世紀後半の築造と推定され、規模の大きさからかつては崇神陵すじんりょうと思われていましたが、物部氏とみられる有力者の奥津城おくつぎ（古代のお墓）とされています。また、周濠の北には大型円墳の塚穴山古墳つかあなやまが築かれています。

A77

さんかくふちしんじゅうきょう  
正解は 三角縁神獸鏡

国の史跡・黒塚古墳は4世紀頃に造られた全長130mの前方後円墳です。平成9年(1997)から行われた調査で、ここから木棺に鏡面を向けて立てた状態で33面の三角縁神獸鏡が発見され、全国考古学ファンの注目を集めました。1ヶ所の古墳からこれだけの鏡が出土したことは極めて珍しいことでした。

三角縁神獸鏡とは、縁の断面が三角形で裏面に神仙などの文様があるものをいいます。中国の歴史書『魏志倭人伝』には、魏の皇帝が邪馬台国の女王・卑弥呼に銅鏡100枚を贈ったとあり、それがこの鏡にあたるのではないかとされています。

黒塚古墳は近世には柳本藩の陣屋の一部としてとりこまれました。また、平成20年(2008)に放送されたドラマ『鹿男あをによし』のロケ地にもなりました。

A78

くしやまこふん  
正解は 櫛山古墳

国の史跡・櫛山古墳は柳本古墳群の1つで、古墳時代前期後半の古墳です。山の辺の道沿い、行燈山古墳(崇神天皇陵)の東隣にあります。

前方部反対側に方形の造出があるため、双方中円墳と呼ばれる特異な墳形の古墳です。この特異な墳形をもつ古墳は数少ないですが、岡山県倉敷市の楯築遺跡や香川県高松市の石清尾山古墳群の猫塚古墳などがあります。

古墳の後円部からは多数の鍬形石や土師器などが壊れた状態で出土しました。発掘のときに壊してしまったわけではなく、埋葬後、日用品や勾玉などをわざと破損させて大きく掘られた穴の中に投げ入れるという古代の祭祀で、葬送儀礼ではないかといわれています。



## 正解は 東大寺山古墳

東大寺山古墳は、全長140mの前方後円墳です。天理市和爾町から櫛本町にかけては、和邇氏一族の拠点であったため、関連一族が築造したと考えられています。昭和35年(1960)の発掘調査で、多量の碧玉製腕飾り、武器、武具が出土しました。なかでも大刀の1本に文字が刻まれていたことで注目されました。「中平」の年号を持つ鉄刀は、金象嵌で24文字が刻まれていました。これは国内最古の紀年銘遺物として注目されています。

「中平」は後漢の年号で、西暦184～189年を指し、『後漢書』によると、この頃倭国に大乱があったとされ、この乱を治めたのが卑弥呼といわれています。この大刀は中国製と考えられ、いつ日本にもたらされたのかわかりませんが、卑弥呼がもらったのではないかとする説もあります。

## 正解は 内山永久寺

内山永久寺は天理市杣之内町にかつて存在した廃寺です。

創建は永久2年(1114)、鳥羽天皇の勅願により興福寺僧頼実が開基したとされ、興福寺大乘院の末寺として栄えました。鎌倉時代の古文書によると、延元元年(1336)、後醍醐天皇が吉野へ向かう中途、ここに身を隠したといえます。文禄4年(1595)には豊臣秀吉から広大な寺領を与えられ、坊舎52坊が立ち並ぶ大寺に。つねに参拝者が絶えず、その威容から「大和の日光」と謳われたほどでした。

しかし、時代は明治に移り、廃仏毀釈の嵐が吹き荒れ、明治8年(1875)前後に内山永久寺は廃絶してしまいました。鎮守社の拝殿は石上神宮の出雲建雄神社の拝殿(国宝)として利用されており、大刹のかつての面影をいまに伝えています。

## Q81

2月14日、長谷寺の修二会しゆにえのしめくくりとして行われる行事は、鬼が登場することで知られます。何と呼ばれる行事でしょうか。



## Q82

11月14日に行われる「醸造安全祈願祭じょうぞう（酒まつり）」には、全国各地から醸造元関係者が集います。写真はお祭り前日のようすで、このお祭りならではの一場面。さて、なんという神社？





## Q83

山の辺の道沿いに奈良盆地を一望でき、立派な三ツ鳥居をもつ神社が建っています。歌枕にもなっているこの場所に建つのは、何という名前の神社でしょうか。

## Q84

桜井市<sup>かなや</sup>金屋のあたりは、古代に市<sup>いち</sup>が立ち、多くの人々で賑わいました。この市は、何と呼ばれていたのでしょうか。

## Q85

「知恵の文殊さん」として親しまれ、秋のコスモス迷路でも知られるこのお寺は、何という名前のお寺でしょう。

## Q86

毎年12月の第1日曜、桜井市高田で行われるお祭りは、子どもたちが大活躍します。何というお祭りでしょうか。

## Q87

もとはQ82の神宮寺だった「大御輪<sup>だいごりんし(おおみわでら)</sup>寺<sup>まつ</sup>」に祀られていた国宝の乾漆<sup>かんじつ</sup>十一面観音像。これは桜井市の何というお寺にある仏像でしょう。

## Q88

桜井市にあるこの廃寺跡は、かつて藤原道長がこの寺を訪れ、とても感嘆したというほど壮大な伽藍<sup>がらん</sup>を誇っていました。何と呼ばれるお寺でしょう？

正解は **ただおし**

「ただおし」は、2月8日から行われている修二会しゅにえの結願けちがん法要で行われます。本尊十一面観音の前でさまざまな罪を懺悔する悔過法要が行われたのち、参拝者の額かぶに無病息災の宝印ごおうが押され、牛玉ふだ札かじの加持が行われます。

この儀式が終わるころ、法螺貝と太鼓の音が鳴り響き、本堂に3匹の鬼が登場します。大松明おおたいまつとともに鬼は本堂を3周したのち、外に出ていきます。鬼は参拝者のなかにも飛び込んできますのでご用心！

その後、顔の長さが60cmほどもある大きな鬼の面をかぶった赤鬼が、大松明をかついで躍り出てくると、参拝者が追いかけて大松明を奪い、鬼を退散させます。長谷寺のただおしは、大和に春を呼ぶ一大火祭りとして知られています。

正解は **大神神社**  
おおみわじんじや

大神神社では、毎年11月14日、新酒しんじゆの「酒祭りしよざう（醸造安全祈願祭）」が行われます。

御祭神おみものぬしのおおかみの大物主大神おおくぬしのかみや境内みやこ摂社・活日神社いくひのじやの高橋活日命たかはしあきひのみことは「酒・醸造の祖神」として古来人々の信仰を集めてきました。三輪山の神々においておいしいお酒をお供えして感謝し、お祭りをしたと、『日本書紀』や『万葉集』にも記されています。

お祭りの時期は新酒の仕込みに入る頃で、全国の酒蔵・酒造業者とうじや杜氏のりたちが参列します。当日、祝詞奏上のりとせうじようののち、4人の巫女によって「うま酒みわの舞」が奉納され、祭典後、醸造安全ごへいの赤い御幣ごへいと「しるしの杉玉」が酒造家・醸造元に授与されます。また、お祭りの前日には拝殿きとうと祈禱殿きとうに掲げられた重さ250kgもある「大杉玉」が、青々とした新しいものにかき替えられます。

(P68、Q82の写真提供：大神神社)



A83

ひばらしんじや  
正解は 檜原神社

大神神社の摂社・檜原神社は、大神神社と同じく三ツ鳥居が建ち、本殿をもちません。崇神天皇が磯城の宮にいたとき、天照大神を宮中に祀っていたところ、天皇と神の同床共殿は畏れ多いこととして、笠縫に「磯城神籬」を立ててここに天照大神を祀りました。天照大神が伊勢へ遷座した後も、その跡を尊崇して祀られることとなり、いまも檜原神社は「元伊勢」と伝えられています。

『万葉集』などで「三輪の檜原」と数多くの歌が詠まれた場所でもあります。境内からは奈良盆地が一望でき、眼下には箸墓の森や遠く二上山の姿も眺めることができます。檜原神社の注連柱から眺める奈良の夕景は、たとえようもない美しさです。

A84

つばいち  
正解は 海石榴市

海石榴市は、三輪を経て奈良へ続く道、初瀬への初瀬街道、飛鳥への磐余の道、河内や和泉などへの道が集まるところに立った市で、いわば古代の物流の中心地でした。また大和川の水運を利用して、難波津に到着した大陸の使節もこの地までさかのぼってきました。

海石榴市には、椿の花をシンボルとして植えていました。そのことからこの名がついたともいわれています。

古代の市は、物資が交換される場であるとともに、人が多く集まることから、男女の出会いの場でもありました。春と秋には若者たちが集まり、歌に思いを乗せて恋のかけひきを行う「歌垣」も行われました。海石榴市は『枕草子』や『源氏物語』、『蜻蛉日記』などの文学作品にも登場しています。

## 正解は 安倍文殊院

俗に「知恵の文殊さん」、「安倍の文殊さん」と呼ばれている安倍文殊院。京都・天橋立切戸の文殊、山形・奥州亀岡の文殊とともに、日本三文殊の1つです。朱塗りの山門をくぐると、文殊池のなかに浮かぶ六角形の金閣浮御堂が美しく迎えてくれます。文殊院の南西に遺跡が残る安倍寺跡が、創建時の「崇敬寺」で、鎌倉時代に現在地へ移されたといわれています。

快慶作の本尊・騎獅文殊菩薩像（国宝）は巨大な獅子に乗った姿で、高さ7m。脇侍の善財童子像・優填王像・維摩居士（最勝老人）・須菩提像の四尊（いずれも国宝）と合わせて、渡海文殊の場面を表しています。知恵にあやかりたいという参詣者、受験合格を祈願する家族連れが1年を通してお参りし、秋にはコスモス迷路も楽しめます。

## 正解は いのこの暴れまつり

中国には、旧暦10月の亥の日、亥の刻（21時～23時）に、穀物の混ざった餅を食べ、無病息災を祈る風習があります。

これが日本に伝わり、収穫の終わった12月に「いのこまつり」と呼ばれるお祭りが行われるようになりました。桜井市高田の「いのこの暴れまつり」は江戸時代初期から受け継がれたお祭り。神への捧げ物を子どもが奪い合い、大暴れする珍しい祭りで、県指定無形民俗文化財となっています。

お祭りではネムノキでミニチュアの農具をつくり、竹のお仮屋に吊るします。子どもたちはこの農具を奪い、食事のときには膳や椀などを放り、ワラを投げてご神灯を消すなど各種の「暴れ」を行います。が、暴れれば暴れるほど、神様が喜ぶといわれています。



## 正解は 聖林寺 しょうりんじ

聖林寺は、藤原鎌足かまたりの長子定慧じょうえが妙楽寺（談山神社）の別院として建立したことに始まるといわれています。本尊は石造彩色子安延命地藏菩薩で、安産・子授けの地藏として知られています。

十一面観音像は、大神神社たいごりんじ(おおみわでら)の神宮寺であった大御輪寺の本尊でしたが、廃仏毀釈はいぶつぎしゃくの折にこちらへ移されました。木心乾漆造りで、左手に蓮華を挿した華瓶けびょうを持ち、流麗な衣文えもん、均整がとれ量感にみちた姿は、天平時代後期の代表的な仏像といわれています。

多くの文化人から絶賛を受けているこの像ですが、なかでも大正から昭和にかけて活躍した哲学者の和辻哲郎は、その代表作『古寺巡礼』で取り上げ、天平彫刻の最高傑作とほめたたえました。本書は大和古寺ブームの先鞭せんべんをつけ、ベストセラーになりました。

## 正解は 山田寺

山田寺は蘇我一族そがのの蘇我倉山田石川麻呂くらやまだのいしがわまろが造営した寺院です。石川麻呂は蘇我入鹿いるかの従兄弟にあたりながら、中大兄皇子なかのおおえのおうじや中臣鎌足なかとみのかまたりら反蘇我勢力と共謀して、蘇我入鹿暗殺事件に加担しました。ところが反逆の罪を着せられ、自害しました。その後、寺の造営は頓挫とんざしましたが、天武天皇5年（676）に塔が完成、次いで講堂が完成。天武天皇14年（685）には丈六仏像じょうろくの開眼供養も行われました。

のちに国の特別史跡に指定された山田寺跡での発掘調査で、東面廻廊が倒壊したままの状況で出土、建築部材は当時の状態を保っていました。復元され、飛鳥資料館で保存・展示されています。また、興福寺にある仏頭（国宝）は山田寺講堂本尊薬師如来像の頭部で、興福寺衆徒しゅうとが持ち去ったもの。興福寺で起きた火災のため、頭部のみが現存しています。

## Q89

毎年春と秋の写真の行事で知られ、桜と紅葉の名所として有名な神社はどこでしょう？



## Q90

写真にある高市郡高取町のこのお寺は、何寺でしょう。ヒントは立地をうかがわせる坂と階段です。



## Q91

Q89 の写真からもう 1 問。  
この神社の御祭神となった人物は誰でしょう。

## Q92

かつて鳥見山の山中にあったという桜井市のこの神社。神武天皇神話の伝承地でもあります。さて、何という神社でしょう。

## Q93

大和高田市で毎年 7 月 7 日に行われるこの行事。室町時代から行われてきた歴史あるもので、吉野山の「蛙飛び行事」にも関係があります。さて、何という行事？

## Q94

標高 583m の山頂に築かれているこのお城の別名は「芙蓉城」。日本三大山城の 1 つに数えられるこのお城は、何という名前のお城でしょうか。

## Q95

浄瑠璃で知られる Q90 のお寺の御本尊は何でしょう。

## Q96

高取町土佐街道周辺で行われ、たくさんの雛人形が飾られるイベントといえば、何でしょう。



A89

たんざん  
正解は 談山神社

写真の「蹴鞠けまりえ会」は、毎年4月29日の昭和の日と、11月3日の文化の日に行われます。蹴鞠は1400年ほど前に中国から伝わったとされ、飛鳥の法興寺（現在の飛鳥寺）で中大兄皇子と藤原鎌足なかのおおえのおうじ ふじわらのかまたりが蹴ったのが日本でははじめてといわれています。使われる鞠まりは鹿の皮でつくられたもの。重さ約150gの鞠を、手を使わず地面に落とさないように6人または8人で蹴ります。勝負のないみやびな遊びです。

談山神社は桜井市にあります。大化の改新の相談を本殿裏の「かたらい山」でしたとの故事から、談山神社と名付けられました。また嘉吉祭かきつさいではお供え物を「百味の御食ひやくみ おんじき」と称し、糯米もちごめなどをきれいに飾り立ててお供えします。春の桜・秋の紅葉の名所としても知られ、例年多くの参拝者が訪れます。

A90

つぼさかてら  
正解は 壺阪寺

壺阪寺は、大宝3年（703）、元興寺がんごうじの弁基上人べんきしやうにんによって開基されたと伝えます。養老元年（717）には元正天皇の発願ほつがんより八角円堂が建てられ、南法華寺の正式寺号を賜りました。桜井市の長谷寺とともに、古くから観音霊場として栄えた名刹めいさつです。

山の中腹に位置しているため、境内は起伏が大きく、階段や坂が多く設けられています。そのため歩くごとに、高い方に位置するお堂や大きな白亜の仏像が見え隠れしたり、お堂の重なりを楽しめたりと、平地の寺院にはない山あいの寺院ならではの拝観の楽しみを味わうことができます。奈良盆地やそれを取り囲む山々を一望できるのも、このお寺ならではの眺め。境内には四季折々に花が咲き、山吹にラベンダー、紅葉など季節によって変化するさまざまな表情を楽しんでみてください。





## 正解は 藤原鎌足

藤原鎌足はいまの高市郡明日香村の生まれといわれています。彼は法興寺の蹴鞠会てんじで、中大兄皇子（後の天智天皇）と大化の改新の相談を行います。当時政治の実権を握っていた蘇我蝦夷・入鹿親子を討伐し、政治の改革を行おうとする話し合いです。そして大化元年（645）、飛鳥板蓋宮大極殿で蘇我入鹿を滅ぼし、中央統一国家の完成という歴史的偉業を成し遂げます。

唐から帰国した鎌足の長男定慧じょうえは、摂津の阿威山に葬られていた鎌足の遺骨を、生前ゆかりの深い多武峰とうのみねに移しました。十三重塔、講堂を建てて妙楽寺みょうらくじとし、後に方丈ほうざんじょうの神殿を建て、鎌足の像を安置しました。初層が大きく、上に12の屋根を重ねた木造十三重塔（重文）は日本でここになく、紅葉に映える緩やかな檜皮葺の屋根が見事です。

## 正解は 等彌神社

等彌神社（能登の宮）は、桜井市桜井にある神社で、本社である上ツ尾社おおひるめむちで大日靈貴のみこと尊を、下ツ尾社ほむだわでは品陀けのみこと和氣命と天兒屋根命あめのこやねのみことをお祀りしています。

橿原宮で即位した神武天皇こうせしんが、皇祖神だいじょうえに大和平定と建国を報告する大嘗会を営んだ鳥見山に本宮があったといわれています。しかし後に大雨で山崩れが起きるなどしたため、いまの場所に遷うつったと伝わっています。県内有数の名社で、中世には妙楽寺（談山神社）の支配下にありました。

平成27年（2015）5月には伊勢神宮じんぐうの第62回神宮式年遷宮しきねんせんぐうにともなって、建て替えられた鳥居のうち1つを譲り受けられました。神社の一の鳥居として設置され、案内板も設けられています。また、紅葉の季節には献灯祭とライトアップが催されます。

## 正解は 奥田蓮取り行事

毎年7月7日の七夕の日に、大和高田市奥田の捨篠池すてしのいけで「奥田蓮取り行事」が行われます。この行事は、室町時代から続く吉野山金峯山寺きんぶせんじにおける「蓮華会」れんげえの一連の行事です。また、役行者の母・刀良売とらめの伝承に深い関わりをもっており、奈良県の無形民俗文化財に指定されています。

この日、捨篠池では蓮取り舟に乗って、古式にのっとりおごそかに蓮切りが行われます。法螺貝ほらがいの音とともに、役行者の母・刀良売の墓に蓮花を献じて供養し、捨篠池に隣接する弁天神社べんまで護摩法要が営まれます。

この切られた蓮は吉野の金峯山寺・蔵王堂まで運ばれ、「蓮華会・蛙飛び行事」にも献じられ、大峯山頂上おおみねさんまでの祠ほころに供えられます。金峯山寺に欠かせない蓮が奥田の捨篠池の蓮なのです。

## 正解は 高取城

高取城は高取山上に築かれた近世のものとしては異例の高さと規模を誇る山城やましろでした。織田信長により大和国内の城は郡山城一城と定められ、いったん廃城しましたが、筒井順慶が城塞を改め、豊臣秀長が家臣の本多利久に入城させて拡充と整備に努めました。「巽高取雪かと思れば雪でござらぬ土佐の城」と謳われたように、城下町から望む白亜の城姿はじつに見事であったといわれています。

備中松山城びっちゅう（岡山県）、美濃岩村城みの（岐阜県）とともに、日本三大山城の1つに数えられています。人里離れた山頂にあることが幸いして石垣が残っており、貴重な城郭資料として国の史跡に指定されています。近年、奈良産業大学の学生が中心となって、CGでお城の全貌が再現されました。



正解は <sup>せんじゅせんがんかん</sup> 十一面千手千眼観  
<sup>ぜおんぼさつ</sup> 世音菩薩

<sup>つぼさかであら</sup> 壺阪寺は吉野に隣接する高取山の険しい山の中にあります。西国三十三所霊場の第六番札所でもあります。

世話物浄瑠璃『壺坂靈驗<sup>れいげん</sup>記』で、盲目の澤市とその眼を治そうとする献身的な妻お里が描かれています。お里がかかさず朝詣<sup>あさもつ</sup>でしたのが壺阪寺の十一面千手千眼観世音菩薩。澤市はお里を楽にしてやろうと谷に身を投げ、お里も後を追って身投げします。2人のせつない夫婦愛に観音様の靈驗による奇跡が起こり、2人は助かりさらには澤市の目が見えるようになります。本堂の横には、澤市とお里の像である「お里澤市像」が建てられています。

広い信仰を集めた壺阪寺。眼病平癒祈願や夫婦円満を願い、いまも多くの参詣者が訪れます。

正解は「町家の雛めぐり」

高取の旧家に代々伝わり大切にされている雛人形の数々。3月1日から31日まで、町家の玄関や窓際、店先などでこの大切に受け継がれてきた雛人形が家主の思いを込められながら飾られます。

雛人形には人形にまつわるそれぞれの家の思い出や願いが綴られた色紙が添えられています。みやびな衣裳<sup>い</sup>を身にまとったお雛様は見ているだけでも心弾みますね。さらに雛人形の展示に加えて、手作り作家による雛人形の作品展のほか、季節を楽しむさまざまなイベントも開催されます。

また、壺阪寺大講堂でも雛めぐりの時期に合わせ、仏像とお雛様をともに飾り、雛曼荼羅<sup>まんじら</sup>として、お祀り<sup>まつ</sup>します。町全体があでやかで華やかな3月に高取町を訪れてみてはいかがでしょうか。

## Q97

高市郡明日香村の石舞台古墳。この墓が荒らされたのは、葬られていたのがこの人だったからという説が!? 死してなお恨まれる被葬者とは、いったい誰?



## Q98

写真は明日香村のぐちおうぼの野口王墓古墳です。ここには、とある有名なご夫婦が合葬がっそうされています。さて、そのご夫婦とは?



## Q99

明日香村の西部、おちのおかのみささぎ越智岡陵にあって、別名「あさがお塚」とも呼ばれている古墳。正式には何という古墳でしょう。

## Q100

明日香村にあるこの古墳には壁に十二支像が描かれています。何という名前の古墳でしょう。

## Q101

明日香村・あまかしのおか甘櫨丘の北西部にあるとゆらでら豊浦寺跡は、ある有名な女帝の宮跡です。その「ある有名な女帝」とは誰でしょう。

## Q102

平成10年(1998)、明日香村の飛鳥池遺跡の発掘で、ある貨幣が33枚出土しました。さて、その貨幣の名前をお答えください。

## Q103

明日香村には西を向くと洪水が起こり、飛鳥が沈むといわれている生き物のかたちをした石があります。さて、それは何と呼ばれる石？

## Q104

きいゆい齊明天皇6年(660)に唐の先進技術を用いて日本ではじめて作られた装置。正常に機能させるための専門家もいました。いまでも遺構が残る「装置」とはいったい何のこと？

A97

そがのうまこ  
正解は 蘇我馬子

馬子は6世紀半ばから7世紀前半びだつ ようめいの人。敏達、用明すしゆん すいご、崇峻、推古といった天皇に仕え、仏教推進派として反対勢力の物部守屋ものべのもりやと争いこれを討ち、さらに崇峻天皇暗殺にも関わりました。数々の謀略を経て権勢を築いたためか、飛鳥寺建立などにみられる仏教への表向きの篤い帰依きえに反して、評判はいまひとつだったとも。

馬子は死後、飛鳥ももはらのの桃原墓に埋葬されたとされていますが、これが石舞台古墳ではないかといわれています。本来盛り土を有するはずの古墳の石室がむきだしになっているのは異常な状態。死者の墓を暴くのは、これ以上ない侮辱であり、ましてやかつての有力者であったとすればなおのこと。権謀術数けんぼうじゆつずを尽くして政治を行った人物の、逃れようのない運命だったとしても、ちょっとかわいそうですね。

A98

てんむ じとう  
正解は 天武天皇と持統天皇

のぐちおうぼ  
野口王墓古墳は、古墳時代終末期の八角墳。宮内庁からは天武陵・持統陵とされ、檜隈ひのくまの大内陵とも呼ばれています。墳丘は現在東西径58m、南北径45m、高さ9mの円墳状ですが、本来の墳形は八角形、五段築成で、朱塗りの石室があり、天武天皇と持統天皇を合葬したといわれています。

『日本書紀』によると、持統天皇は天皇として初めて火葬にされた人物で、お骨は銀製の箱に入れ、金銅の容器に大切に納められました。

近世に入り、天武・持統陵は、野口大墓古墳ごじょうのまると五条野丸山古墳やまのどちらであるか不明となり、その後近代に到るまで諸説が入り乱れました。明治13年(1880)になって、『阿不幾乃山陵記』あおきのさんりょうきという史料が発見され、記された盗掘の記録から正式治定されることになり、今日に至っていません。



けんごしつか  
正解は 牽牛子塚古墳

けんごし  
牽牛子とはアサガオのこと。  
7世紀後半ごろに築造された、  
高さ5mほどの八角形墳です。  
墳丘の中央には、巨大な凝灰  
岩をくり抜いて作った横口式  
石槨があり、内部は厚さ  
50cmの壁によって間仕切り  
されています。長さ2.1m、  
幅1.2m、高さ1.3mの同じ  
かたちの部屋が東西に並ん  
であり、それぞれの床面に低  
い棺台があります。

石槨内からは夾紵棺の破  
片が多数と、棺にとりつけら  
れたと思われる七宝製龜甲  
形飾金具や、金銅製の六花  
形・八花形の座金具、ガラス  
玉などが出土しました。

合葬を考えた石槨構造や、  
優れた出土品から、被葬者は  
斉明天皇（重祚する前は皇極  
天皇）と間人皇女だという説  
が有力です。

正解は キトラ古墳

キトラ古墳で壁画が発見さ  
れたのは昭和58年（1983）  
のこと。7世紀末～8世紀初  
めに造られた直径13.8mほ  
どの円墳です。四壁には青龍  
（東壁）、朱雀（南壁）、白虎（西  
壁）、玄武（北壁）、十二支像  
が確認されており、天井には  
赤道や星座を配置した天文図  
などが見られます。劣化が激  
しく、保存のために壁画は剥  
ぎ取ってあります。キトラ古  
墳は平成12年（2000）国  
の特別史跡に指定されました。

十二支像は、頭が動物、身  
体は人間の獣頭人身像です。  
現在確認されている6体の  
うち一番鮮明に残っているの  
が「寅」。身長14cmほどの  
小さな壁画で、牙はなく、矛  
を持ち、ワンピースのような  
長い衣を着ています。これら  
十二支像は武器を手にしてい  
ることから、守護神的な役目  
もあったのではないかといわ  
れています。



## A101

正解は <sup>すいこ</sup>推古天皇

推古天皇元年（592）に即位した、日本初の女性天皇・推古天皇。聖徳太子が摂政となり、36年に及ぶ長い治世となりました。

推古天皇11年（603）に小墾田宮に移るまでの間、推古天皇の宮所であった宮跡に蘇我馬子<sup>うまこ</sup>が豊浦寺<sup>とゆらでら</sup>を創建しました。日本で初めての尼寺といわれ、小墾田豊浦寺、豊浦尼寺とも呼ばれました。飛鳥寺と対をなす蘇我氏の氏寺であったともいわれています。

豊浦寺跡の発掘調査では、金堂・講堂・塔・廻廊の基壇と思われる遺構が確認されました。講堂の規模は東西30m以上・南北22m前後で、飛鳥寺講堂と同規模と推定されています。9世紀には堂宇が崩れ、鎌倉時代に若干再建された後、室町時代以降は衰亡していきましました。現在講堂跡には向原寺<sup>こうげんじ</sup>が建っています。

## A102

正解は <sup>ふほんせん</sup>富本銭

富本銭はそれまでいくつかの発見例がありましたが、江戸時代につくられたおもちゃのお金であるとか、奈良時代に造られたおまじないのお金と考えられていました。

ところが、飛鳥池遺跡の発掘によって33枚の富本銭が出土し、分析考察した結果、7世紀後半にさかのぼる銅銭であることがわかりました。

これにより、それまで日本最古の流通貨幣とされていた「和同開珎<sup>わどうかいちん(ほう)</sup>」より古い貨幣であることが明らかとなりました。『日本書紀』天武天皇12年（683）の記述にある「いまより以後必ず銅銭を用いよ」と書かれている「銅銭」が、いったい何を指しているのかわかっていませんでしたが、それこそが富本銭である可能性が高くなったのです。





## 正解は 亀石

謎の石造物があちこちにある明日香村。その1つがこの亀石です。

明日香村川原にあるこのユーモラスな表情の石造物。長辺 4.26 m、短辺 2.72 m、高さ 1.92 mの巨大な花崗岩の自然石に、亀に似た彫刻がほどこされています。ほのぼのとした表情に癒される人も多いでしょうが、こわい伝説があるんです。それというのも、この亀石はかつて東を向いていましたが、現在は南西を向いており、いつの日か西の方を向いたとき、飛鳥は泥の海と化す…というもの。ちょっとずつ西向きになっているとはホラーですね。

亀石造像の理由については現在まったくわかっていません。一説によると、居住地とお墓との境界線や結界を示すものなどともいわれています。とはいえ、せめて西を向かないように祈りましょう。

## 正解は 水時計

『日本書紀』によれば、日本ではじめて水時計を作ったのは中大兄皇子なかのおおえのおうじ（のちの天智天皇てんじ）で、斉明天皇6年(660)のときといわれています。天智天皇10年(671)の4月25日つづみ（現在の6月10日）に、鐘や鼓で時が知らされました。これにちなみ、6月10日は時の記念日となっています。このとき作られた水時計を漏刻ろうこくと呼びます。その技術は唐から導入したものです。

昭和56年(1981)、明日香村の水落遺跡みずおちでこの水時計の遺構（漏刻台）が発見されました。遺構は正方形で中央に水槽を置き、その下に木樋もくひと銅製の配水管が埋められ、陰陽寮おんようりょうにおかれた2人の漏刻博士はかせがこれを管理しました。水槽の上には楼が築かれ、博士らが鐘をついて時を知らせたといわれています。

# Q105

橿原市にあり、礎石が並ぶこの写真は、何というお寺の跡でしょうか。



# Q106

この矢印が示す2つの山の名前をお答えください。



## Q107

和銅3年(710)、都は藤原京から平城京に遷うつされましたが、このときの天皇は、いったい誰でしょうか。

## Q108

大津皇子が「ももづたふ ○○○の池に なく鴨を…」という辞世の歌を詠み、涙を流したといわれる池はどこでしょう。「○○○」に入る平仮名をお答え下さい。

## Q109

藤原京の朱雀大路・南北中軸線の延長線上には、7世紀後半から8世紀はじめにかけての終末期古墳が並びます。この線を「○○○ライン」と呼ぶ学者もいますが、この「○○○」に入る言葉とは？

## Q110

『万葉集』で「大和には群山むらやまあれど…」という国見の歌を詠み、在位中に最初の遣唐使を送ったという天皇は誰でしょうか。

## Q111

橿原市の御厨子みずしかんのんみょうほうじ観音妙法寺は、ある遣唐使が無事帰国できたことを感謝して建立したと伝えます。この遣唐使とは誰でしょう。後に橘諸兄たちばなのもろえに登用された官僚でもあります。

## Q112

かつて「大和の金かねは○○に七分」といわれるほど繁栄したこの町。現在も大半の町家が保存され、中世後期の姿を残しています。さて、何町？

A105

もとやくしじ  
正解は 本薬師寺

近鉄<sup>うねび</sup>畷御陵前駅から東へほどないところに、「本薬師寺跡」（国の特別史跡）が残っています。天武天皇9年（680）に、天武天皇が皇后（のちの持統<sup>じとう</sup>天皇）の病氣回復を祈って建立したといわれるのが、本薬師寺です。

工事は18年かかったといわれ、文武天皇2年（698）にほぼ完成しましたが、和銅3年（710）の平城京遷都によって、薬師寺もそちらに移りました。新しい薬師寺に対し、ここは本薬師寺と呼ばれるようになりました。

現在は、金堂と東西両塔の基壇、礎石などが残っています。金堂跡には、正面7間、側面4間<sup>けん</sup>、方形の柱座<sup>はしらざ</sup>を持つ礎石が残っています。8月中旬～9月下旬には周辺の水田に植えられたホテイアオイが咲き、辺り一面が淡紫色の花畑になる人気の観光スポットです。

A106

うねびやま  
正解は 畷傍山（手前）と  
にじょうさ(ざ)ん  
二上山（奥）

畷傍山<sup>みみなしやま</sup>は耳成山、天香久山<sup>あまのかぐやま</sup>とともに大和三山の1つです。標高は199mで、大和三山の中ではもっとも高い山です。大和三山は古代飛鳥、藤原京の都市計画で重要視され、古くから『万葉集』などにも多く詠まれてきました。

一方の二上山は、標高517mの雄岳<sup>おだけ</sup>と標高474mの雌岳<sup>めだけ</sup>の2峰をもつ山。1300万年前には火山活動していたこの山裾にある春日山から産出するサヌカイトは非常に良質で、石器づくりなどに用いられてきました。また、実用面だけではなく、二上山の向こうに沈む夕日からいつしか信仰の山としての性格を与えられ、飛鳥時代の朱鳥元年（686）に謀反の罪で処せられた大津皇子<sup>おおつのみこ</sup>は二上山に葬られました。

古くは「ふたかみやま」とも呼ばれていたそうです。



A107

げんめい  
正解は 元明天皇

壬申の乱後、律令国家の体制を整えた天武天皇の事業は、皇后である持統天皇に引き継がれ、持統天皇8年(694)に宮城を中心とした広大な藤原京が造営されました。しかし次の文武天皇の時代に、遣唐使によって唐の都・長安のようすが伝えられ、それをモデルとした新都造りの計画が起こります。南向きの都城として造られた藤原京でしたが、交通路の問題で、北側からのアクセスにならざるを得なかったことも遷都の理由の1つだったようです。

文武天皇のあとを継いだ元明女帝は、和銅元年(708)、平城京への遷都を命じたみことのり詔を出しました。「元明天皇が厳命したから平城京に遷都した」というと、ちょっと覚えやすいですよ。遷都では藤原京の建物で使えるものは解体して、平城京まで運んで再利用したそうです。

A108

いわれのいけ  
正解は いは(わ)れ(磐余池)

磐余池といえば思い浮かぶのは謀反の罪で処刑された大津皇子おおつのみこが詠んだ辞世の歌。歌は「ももづたふ 磐余の池に 鳴く鴨を 今日のみ見てや 雲隠りなむ」というもので、『万葉集』には「磐余池の堤で涙を流して詠んだ」と記されています。

磐余池は『万葉集』や『日本書紀』にその存在が記されながら、いまだに場所が特定できていません。しかし、平成23年(2011)に橿原市東池尻町で発見された人工池の跡地はその最有力候補ともいわれています。

橿原で発見された人工池の堤は現在の地形から推定すると、高さ3m、総延長330mあり、池の広さは8.7haと考えられます。また堤の上からは、用明天皇の宮に関連するとみられる大型建物跡も発見されました。今後のさらなる報告が待たれます。

## 正解は 聖なるライン

天<sup>てんむ</sup>武<sup>む</sup>天皇<sup>てんむ</sup>によって造営された藤原京の南京極からキトラ古墳の間には菖蒲池古墳、天<sup>てんむ</sup>武<sup>む</sup>・持<sup>じとう</sup>統<sup>とう</sup>陵<sup>りやう</sup>、中<sup>ちゆう</sup>尾<sup>び</sup>山<sup>さん</sup>古<sup>こ</sup>墳<sup>ぼん</sup>、高<sup>かう</sup>松<sup>そう</sup>塚<sup>づか</sup>古<sup>こ</sup>墳<sup>ぼん</sup>、文<sup>ぶん</sup>武<sup>む</sup>天<sup>てん</sup>皇<sup>わう</sup>陵<sup>りやう</sup>と、7世紀後半から8世紀はじめにかけて造られた終末期古墳が並んでいます。真北を意識して古墳の立地を決めたのではないかと、この線を「聖なるライン」と提唱したのは、京都大学名誉教授の故<sup>きしとしお</sup>・岸<sup>きし</sup>俊<sup>しん</sup>男<sup>お</sup>氏<sup>し</sup>でした。この線をまっすぐ北に伸ばすと、京都の山科にある天<sup>てん</sup>智<sup>ち</sup>天<sup>てん</sup>皇<sup>わう</sup>陵<sup>りやう</sup>にも到達します。

また、東<sup>つかみょうしん</sup>明<sup>めい</sup>神<sup>しん</sup>古<sup>こ</sup>墳<sup>ぼん</sup>とマルコ山古墳を「聖なるライン」に組み込むと北斗七星のかたちとなります。ひしゃくの柄の先端が天智陵、コの字型の南端がキトラ古墳。高句麗では北極星が天子の象徴で、皇族を示す「聖なるライン」は北斗七星のかたちではないかと提唱する研究者もいます。

## 正解は 舒明天皇

舒明天皇は、天智天皇と天武天皇の父にあたります。先代の推<sup>すい</sup>古<sup>こ</sup>天<sup>てん</sup>皇<sup>わう</sup>の後継者として、山<sup>やましろうのおおえのおう</sup>背<sup>せい</sup>大<sup>だい</sup>兄<sup>けい</sup>王<sup>わう</sup>と皇位を争いますが、蘇<sup>そ</sup>我<sup>が</sup>蝦<sup>え</sup>夷<sup>い</sup>に推されて天皇となりました。舒明天皇2年(630)、犬上御田<sup>いぬがみのみ</sup>鍬<sup>たすき</sup>、薬師<sup>くすし</sup>恵<sup>え</sup>日<sup>にち</sup>らを第1回遣唐使として送っています。

『万葉集』巻1-2で、国見をした舒明天皇は次のように詠み、大和の素晴らしさを讃えています。

「大和には<sup>むらやま</sup>群<sup>ぐん</sup>山<sup>さん</sup>あれどとりよろふ<sup>あまのかぐやま</sup>天<sup>あま</sup>香<sup>か</sup>具<sup>ぐ</sup>山<sup>さん</sup>登<sup>のぼ</sup>り立<sup>た</sup>ち国見をすれば<sup>くにはら</sup>国<sup>くに</sup>原<sup>はら</sup>は<sup>けぶり</sup>煙<sup>けぶり</sup>立<sup>た</sup>ち立つ海原は<sup>うなはら</sup>嶋<sup>がまめ</sup>立<sup>た</sup>ち立つうまし国そ<sup>あきづしま</sup>蜻<sup>あきづ</sup>蛉<sup>しま</sup>島<sup>しま</sup>大和の国は」

当時、天皇の国見とは、自ら治める国土を眺め賛美し、五穀豊穰の未来を祝う儀礼行為でした。いま、天香久山にはこの歌の碑が建てられており、碑の前は大きく眺望が開けているので、「国見」には最適です。



きびのまきび  
正解は 吉備真備

遣唐使として唐に渡った吉備真備が、無事帰国できたことを感謝し、天平7年(735)に御厨子観音妙法寺を建立したと伝えます。最盛期、5万㎡もの広さを誇った境内には、北室院、南室院などのお堂が建ち並んでいたとも。兵火や火災のため1度衰退します。現在のお堂は元禄時代に再建されたもの。本尊の十一面観音立像(推定鎌倉時代)は、吉備真備の観音信仰を伝えるもので、一願成就をかなえてくれるといえます。

「御厨子」の名は、この寺の東側低地に「磐余の池」があり、磐余池の水尻(=水の端)に位置していたことから、そう呼ばれるようになったといわれます。この辺りには吉備池や吉備寺跡といった吉備真備にちなむ史跡も残っています。

正解は 今井町

天文2年(1533)、本願寺の今井兵部によって建てられた一向宗の称念寺を中心に、在郷武士を含む有力な信徒が集まって寺内町として形成され、栄えたのが橿原市の今井町です。

当初は一向宗と敵対する織田信長に対し反抗していましたが、本願寺の降伏にともない、堺の豪商や明智光秀のとりなしで武装放棄、その後は商工業の町として発展します。俗に「今井千軒」「海の堺、陸の今井」と呼ばれるほどに栄え、江戸時代には独自の紙幣「今井札」が流通するなど、「大和の金は今井に七分」といわれました。

やがて明治時代になり、鉄道の開発によって町の賑わいは駅の周辺に移りますが、中世後期から残された町並みは、住民の尽力が功を奏し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



# ポケットに奈良 クロスワード

1	2		3		4	
5			6	7		
		8		9		
10						
				11		12
13	14		15			
16						

## タテの鍵

1. はじめ秋山氏の城として築かれた宇陀●●●●●●●●。
2. 『古事記』と『日本書紀』をまとめて言うこと。
3. 宇陀・吉野地方の特産品。お湯にとかして飲めばあったまる〜♪
4. ときに雨を降らせ、ときに雨を止ませる水の神、●●●●●●●●神社。
7. ●●●●●●●●街道は高取城の城下町の表通りだよ。
8. 法隆寺を代表する飛鳥時代の仏像、国宝●●●●●●●●観音像。
11. 二上山や尼寺廃寺といえは●●●●●●市。
12. 眼病に靈験あらたかたで、以前は清水神社と呼ばれていた●●●●●●●●神社。
14. 吉野山中から流れ出て「やまとの水31選」に選ばれる「●●●●●●の小川」。

## ヨコの鍵

1. 建物跡や箸墓古墳などがあり初期ヤマト政権の発祥地といわれる桜井市の遺跡。
4. 青龍・朱雀・白虎・玄武の四神のうち、白虎が守護する方角。
5. 広陵町にも伝承があるかぐや姫の出身地。
6. まるで階段ピラミッドのような石仏の塔。
9. 神社で神様にお供えする木。
10. 中将姫が一夜で蓮糸で織り上げたもの。
11. 明日香村でコンテスト、高取町でスタンブラリーが行われる●●●●●●のイベント。
13. 観音信仰の篤かった菅原道真を祀る長谷寺の鎮守社、●●●●●●天満神社。
15. 源義経、後醍醐天皇、豊臣秀吉ら、歴史上の人物も滞在した吉野の●●●●●●●●神社。
16. 中宮寺の天寿国繡帳で月の中にいる動物。

答えは P119



な  
は  
に  
あ  
ら  
わ  
る  
こ  
の  
こ  
た  
ま  
を  
ま  
も  
ら  
う